

- 対外的に自社のSDGsを発信することで、**社外の方に興味を持ってもらえるチャンスが増えた**。また、**自社の取組を認知してもらいやすい環境が整った**。
- 「フィリピンの無電化島に灯りをともすプロジェクト」を発足させ、再生可能エネルギーの固定価格買取制度（以下、「FIT」）後に大量廃棄が予想される**太陽光パネルを電気が必要であるフィリピンの離島へ送り届ける**。

○SDGsを経営に取り入れた手順

- 社内にはSDGs推進委員会（以下、「推進委員会」）を組織し、定期的に推進委員会を開催。2030年までに17の開発目標を達成するため、社内の現状把握に努め、業務内容とSDGsの関連性について整理。具体的な取組の内容及び方法を協議・実施している。
- 17の開発目標に優先順位をつけ、目標達成までのスケジュールを作成。今できることから社員全員が実践。
- 社内勉強会の実施により、全社員がSDGsの知識や取組内容の理解を深め、自社で提供する商品やサービスの品質向上に反映させている。
- **SDGsハンドブックを作成し、社員全員に配布**。このハンドブックではSDGsの17の持続可能な開発目標についてそれぞれ詳しく記載し、社員と目標の共有を図っている。



○SDGs経営を進める上でのメリット

- SDGsを経営の尺度として活用。**自社の長期経営計画を策定する際にもSDGsをツールとして用い、将来を見据えた経営ビジョンを描くことができた**。
- 行政機関主催のセミナーで自社のSDGsへの取組について講演を実施。対外的に自社の取組を発信することで、**社外の方に興味を持ってもらえるチャンスが増えた**。また、支援機関等から取材を受ける機会も増え、**自社の取組を認知してもらいやすい環境が整った**。

○目標の絞り込みについて

- 2030年までの10年間で17の目標すべての達成を目指す。
- 初年度においては、**17のうちの5つの開発目標に絞り込み取組を開始**。



○SDGsの主な取組と今後の展開

- 「フィリピンの無電化島に灯りをともすプロジェクト」の発足
- FIT後に大量廃棄が予想される**太陽光パネルを電気が必要であるフィリピンの離島へ送り届ける**。
- 送り届ける太陽光パネルは、発電効率が80-90%維持できるものを検査し選ぶことを想定。
- 2021年は**太陽光パネルと蓄電池をフィリピンの学校へ寄贈**。子供たちが夜間も電気を使って勉強できる環境を整備することで現地の教育レベルの向上に取り組んでいる。
- **カーボンニュートラルへの取組**
- 自社で実施する**すべての公共工事において、2025年までにCO2排出をゼロへ**。
- 2025年までに**社用車すべてを電気自動車に切替え**。
- 2030年までに会社で使用している電気を**すべて再生可能エネルギーでまかなう**。
- **ジェンダー平等の実現への取組**
- 2030年までに**女性社員比率及び女性管理職比率を30%へ引き上げる**。
- **その他の取組**
- 推進委員会にて毎週、目標への進捗状況の確認や今後の取組について協議。
- 開発途上国への支援に力を入れており、社員から集めた古着を活用し、100人分のポリオワクチンを寄付。
- 地元の小中学生を対象とし、SDGsについての講演を実施。若い世代へSDGsの理解を深めてもらう取組を積極的にやっている。

● フィリピンの日本語学校に通う生徒を技能実習生として受入れ、日本の技術を母国で活用してもらうための人材育成事業にも取り組む。



○今後の目指すべき姿

● 「すべての事業活動は環境問題とエネルギー供給に配慮したNEXT STAGEへ」という企業理念に基づき、社会貢献と持続的な発展を進めていくことを自社の目標に掲げている。SDGsの取組を通じて、社会的課題の解決に寄与することで、自社のさらなる事業拡大を図り、**100年続く企業を目指す**。



○会社概要

高知市において1962年創業。半世紀にわたり、電気設備、通信設備、機械設備など主に公共工事に従事。近年では、環境問題とエネルギー供給に配慮した企業活動の実施を目的として、太陽光発電システム、蓄電池等の再生可能エネルギーの普及促進に取り組んでいる。